

北陸エリアで業界における圧倒的No.1企業となる

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

- 常に顧客から何が求められるているかを敏感にキャッチする。そして、最先端の設備を揃え、最高の仕事をする。
- 具体的には、労務自動化比率＊を現在の55%から、5年後(本事業終了時)に75%、そして15年後(次期大型工場建築時)に90%まで引き上げる。
- 工場の自動化促進に合わせて、効率を徹底追求した基幹システムを計画的に導入する。
- 上記は自ずと安全面と働きやすさが伴うものであり、働き方改革に叶う。常に最先端を追い求め、働くことがワクワクする会社にすることで、人材を確保する。高収益を達成し、力強い賃上げを持続する。
- 上記を成し遂げ、北陸エリアで業界における圧倒的No.1企業となる。

会社全体の売上成長目標（～2030年）

- 売上高成長率17.1%
- 売上高増加額27.8億円

会社全体の賃上げ目標

- 4.0%（直近事業年度～基準年度）
- 6.0%（基準年度～事業化報告3年目）

＊ 労務自動化率＝工程要員のうち、常時ラインに張り付く必要がなくなる割合

外発的動機

1. 環境規制と顧客要求の高まり

日本のプラスチック資源循環法により、揮発性有機溶剤（VOC）を使わないラミネート技術への転換がグローバルスタンダードに。サステナブル調達を推進する大手食品・医薬品メーカーの指名条件でもある。

2. 硬質容器から軟包装へのシフト加速

少量・多頻度・リフィル需要の拡大で、紙箱・ガラス瓶から軽量のスタンドバック／スパウトパウチへの置き換えが急速に進行。

3. 物流2024年問題とカーボンコストの顕在化

人手不足によるリードタイム長期化・運賃高騰により、調達から納品までのリスクを自社内に吸収できる高効率一貫生産の価値が上昇。CO₂排出量可視化義務化への対応としても、輸送回数を減らす軽量・省スペース包装への切り替えが不可避。

4. 地域経済への波及と政府補助金の活用機会

「持続的賃上げ」掲げる政策と、大規模投資を後押しする補助金制度を活かし、北陸発・最新鋭自動化工場のモデルケースとなる好機。

内発的動機

1. 自動化ロードマップの実現

先進他社視察で痛感した残り20～35ポイントのオートメーション・ギャップを埋め、5年後には労務自動化率75%、15年後90%を達成して北陸エリア No.1 の座を確固たるものにする。

2. 多様な人材が活躍できる“安全・クリーン工場”の実装

重量物搬送や溶剤臭による身体的・衛生的負担を根本解消し、女性・シニア・外国人実習生を含む多様なチームが安心して働ける環境を構築。

3. 繁忙期の二交替＋残業からの脱却

AGV・立体倉庫・ノンソルベントラミネータ導入により、段取り・搬送のムダ時間を40%以上削減。残業削減と休日確保でエンゲージメントを向上させ、優秀人材の定着を図る。

4. “賃上げ6%/年”を継続できる利益体質への転換

高付加価値製品比率を引き上げ、限界利益率72%を実現。生産性向上と価格競争力強化を両立させ、従業員への還元と次期投資を好循環させる。

5. データドリブン経営と現場イノベーションの加速

基幹システム刷新でリアルタイム原価・品質データを可視化し、現場発の改善提案を即PDCAに反映。属人的ノウハウをデジタル資産に転換する。

最新鋭自動化工場と高付加価値製品による持続賃上げ基盤構築事業

補助事業の
背景・目的

- 従来の「安い売値に合わせて製造原価を抑制する」ビジネスモデルから脱却し、高付加価値製品の開発・製造に注力することで、より高い売値を実現し、安定した給与原資の確保するビジネスモデルへ変革する。
- 「高付加価値製品を安定供給できるサプライヤー」と「一般商材を低価格で提供するサプライヤー」では、事業安定性が全く異なる。本補助金を活用した大規模投資により、高付加価値製品の製造体制を構築し、地域における持続的な賃上げの実現に貢献する。

事業費
(補助額)

31億円
(7.5億円)

設備投資の
内容

【設備投資の内容】 A：建物費18億円 B：機械装置費10億円 C：システム構築費2億円

- A：本社工場を増設工事を施し、そこにAGV,AGF,立体自動倉庫を設置する(P14-15)
- B：高付加価値製品の生産性向上・自動化比率向上を目指す(P16)
- C：基幹システムの抜本改革。上記A・Bの設備投資と連携する (P17)

【課題解決手段・労働生産性向上策】

- 非防爆型工場の新設による作業効率向上及び労働環境改善
- 環境配慮型工場とすることでの省エネ・脱炭素化とTier1からの受注拡大
- スパウトインサータ、スタンド製袋機の導入によるスパウト付包装やスタンドパック製造による高付加価値化（右写真：主要設備）
- 工程間の段取工程における手作業の自動化・省力化
- 熟練技術者のノウハウのデジタル化・機械化による品質安定性・ロス削減

スタンド製袋機



ノンソルベントラミネータ



スパウトインサータ



目標値

項目	2026年度 (2027/4月期) (基準年度)	2029年度 (2030年4月期) (基準年度 + 3年後)
労働生産性 (単位：万円/人)	1,076万円/人	2,024万円/人 (年平均上昇率 + 23.4%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	526万円/人	626万円/人 (年平均上昇率 + 6.0%)
役員 1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率 + 6.0%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	74人	88人